



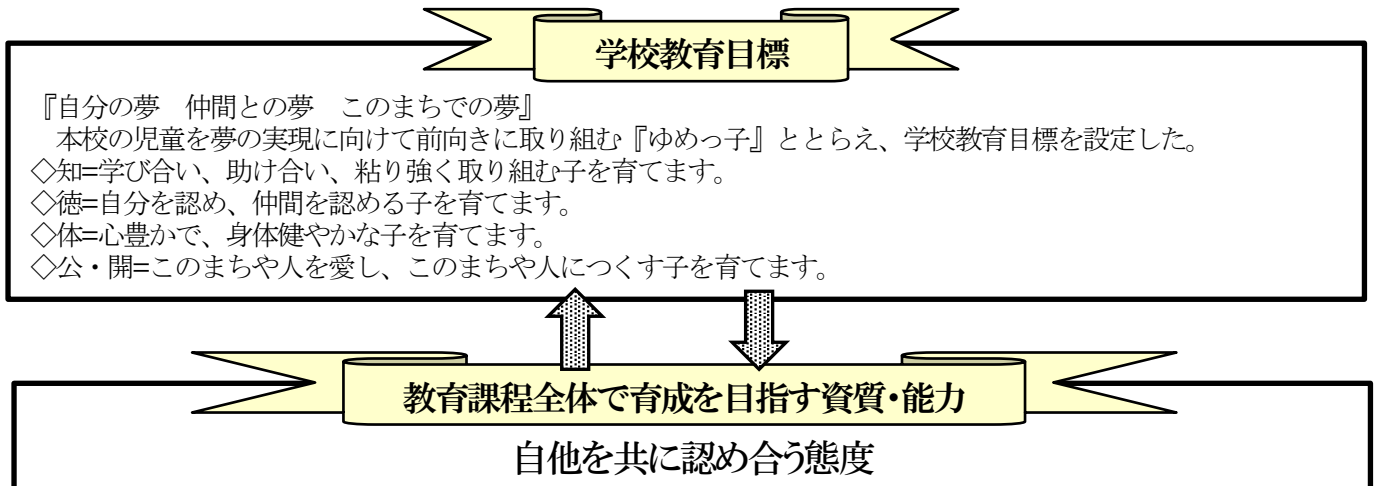
# 横浜市立川島小学校 平成31年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～



### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



#### (2) 中期取組目標

学校経営中期取組目標
本市の人権教育推進に向けた2つの理念『誰もが』『安心して』『豊かに』生活できる学校をめざして、「人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成」を学校経営の基盤に置き、次に挙げる3点を取組目標とする。 ◆自ら学習に取り組み、自分に自信をもてる子を育てます。 ◆進んであいさつし、思いやりの心をもって、自他を大切にすることを育てます。 ◆「まち」とのかかわりを大切に、自分たちを「まち」を大切にすることを育てます。また、取組目標の達成に向け、“ゆめっ子”の具体的な姿として、「人に優しくできる子」「自ら考え、行動できる子」の育成に継続的に取り組む。

#### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的な取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	児童の体育・健康面の課題を明確にし、日々の体育科の指導や「一校一実践運動」などの教育活動の中で計画的に取り組む、児童の体力の向上、健やかな心身の育成をめざす。	◆一校一実践運動に長距離走を取り上げ、通常の体育科の学習指導に加え、中休み等の時間を通して体力の向上を図る。 ◆校内研修における、体育科の授業改善を図る。 ◆学校保健委員会などの活動を通して、規則正しい生活を送る習慣を身に付けさせ、自らの生活を振り返り継続的な実践を行う。 ◆栄養士と連携し、食に関する指導を行う。

### 2 体育・健康に関する実態調査

#### (1) 体育・健康に関する実態

- 「一校一実践運動」の取組状況を見てみると、徐々にではあるが運動への関心が深まってきた。
- ▼本校の運動能力では、ほとんどの種目について全国平均や横浜市平均(以降 市平均)を下回っている。
- ▼朝食の摂取率は全校的には市平均に近づいてきたが、高学年になるにつれて摂取率が低くなる傾向は変わらない。
- ▼学区は広く、地域の中には公園などの外遊びができる空間が多く点在している。日常的に外でよく遊ぶ児童や社会体育で運動を行う児童がいる一方で、そうでない児童との“運動経験の二極化”が顕著に表れている。
- ▼保健室の利用状況は軽度な症状の物が多いものの、児童個々の利用頻度は高い。また、心の不安から保健室を利用している児童も少なからずおり、養護教諭、児童支援専任、学校スクールカウンセラーと連携している。

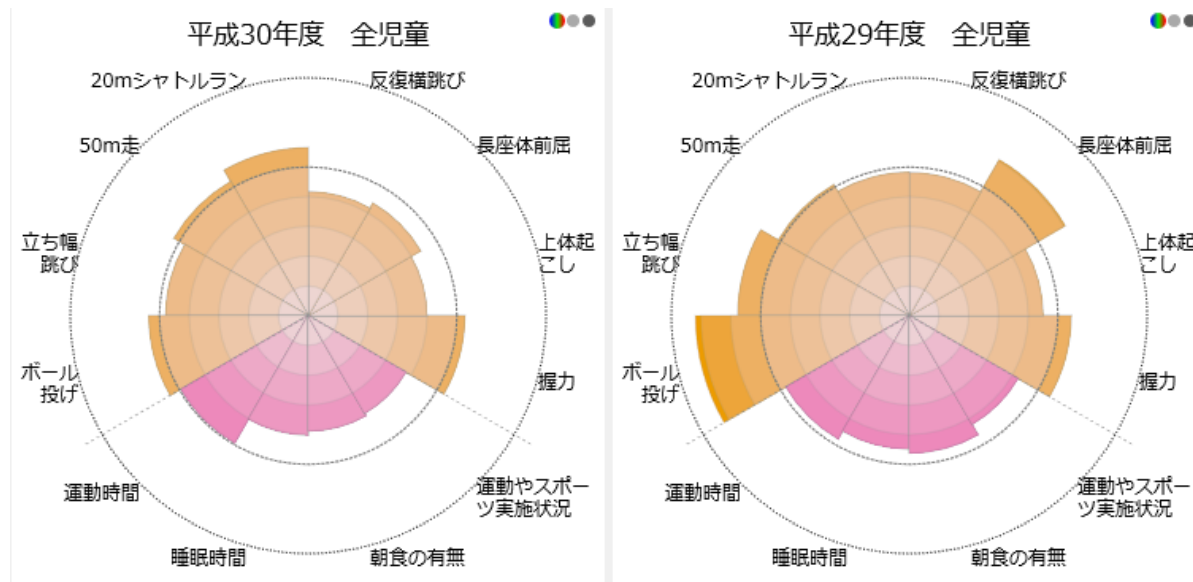
#### (2) 体力の概要と要因の分析

新体力テストの結果【図I】からみると、運動に関する調査から見ると、主に持久力を示すシャトルラン

については数値を伸ばしたものの、昨年度に比べ今年度は数値を落とした項目が多い。特に「投力」と「長座体前屈」、「立ち幅跳び」の数値が大きく落ちた。日頃の体育科の学習を学年の系統性に留意して丁寧に指導し、特に巧緻性・柔軟性・瞬発力を高められるようにしたい。

また、生活調査においても昨年度と比べ、市の平均値から遠ざかってしまった。「運動時間」については、若干伸びたものの、特に「朝食の有無」に関しては大きく数値を落としている。各学年の数値を見ると、概ね市平均となっているが、学年によっては大きく下回る実態があった。家庭や家庭科専科教諭、給食部、学校栄養職員などとの連携を密にし、学年の発達の段階に応じた「食」についての知識と習慣を身に付けさせたい。

【図1】



### 3 体育・健康に関する具体的な取組

#### 【各教科等】

##### ★体育科での取組

- ・体育科では新体力テストの結果や身体計測などの経過をもとに、日常の体育科での学習において児童の体力を向上させる。
- ・学校保健委員会では、規則正しい生活習慣やけがの防止を取り上げ、学校全体の指標や今後の方針を明確にしていく。

##### ★他教科での取組

- ・家庭科では、食教育の充実を図り、栄養士などの指導のもと、食と体力・健康との関わりに迫る。
- ・国語や社会、理科（生活）では、身の回りの動植物の生態について学習し、自分だけでなく、他者の生命を大切にしようという態度を養う。

#### 【特別活動・総合的な学習の時間】

- ・運動会では、体育科で培った資質・能力をもとに、より主体的に学習に取り組ませると同時に体力についても向上させる。
- ・運動委員会では、児童の体力向上を大きなテーマとして集会を企画・運営する。
- ・道徳を通して、児童個々が人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念をもち、自他共に安心して高まれるようにする。それらを家庭、学校、その他の社会における具体的な生活の中で活用することができるように指導・支援する。

#### 【課外活動】

- ・学校・児童・保護者・学校医が連携して行う学校保健委員会の取組。
- ・児童実行委員会が中心となって運営する運動会の取組。
- ・全校児童が体力向上をめざして行う“一校一実践”への取組。

平成31年度 川島小学校 体力向上一校一実践運動！！

### 「楽しく走ろう！ラン・ラン・ランニング！」

#### ★ねらい

- ・児童の運動器械を確保し、友だちとの豊かな関わりを増進することを通して児童の個々の体力を向上させる。

#### ★内容

##### ①中休み「ラン・ラン・ランニング」

- ・全校児童が発達の段階に合わせて一定の時間走り続けて体力を向上させる。※年間2期

##### ②マラソン大会

- ・各学年ブロックで地域の会場を使って開くマラソン大会。※2月末開催

#### ★分析の指標

##### ①各種活動の振り返り

##### ②生活実態調査：「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動・スポーツの実施時間」